

2025 年度 朝日大学入学者選抜試験

【出題の意図】

|      |                    |
|------|--------------------|
| 試験日  | 2025 年 1 月 29 日    |
| 入試区分 | 一般選抜 一般入試 I 期 A 日程 |
| 科目   | 世界史                |

I 中国文明の誕生から後漢までの中国史について政治史を中心に、その歴史の流れが把握できているかを見る問題であり、地図や歴史史料についても正しく読み取ることができるかを見る。殷・周時代については社会の仕組みを正しく理解できているかを、前漢の経済史については史料を読み取り、その状況を正しく把握できるかを問う。秦の始皇帝や漢の高祖劉邦の政策については、他の時代の指導者の政策と混同しないように正しく理解できているかを問う。後漢の対外政策やその滅亡の原因については、他の時代と混同しないようにして解答できるかを問う。その他、新石器文化・春秋戦国時代・魏晋南北朝時代については、その時代を越えた文化まで幅広く理解ができているかを問う。

II イベリア半島の古代から近代までの歴史の流れを概観する問題である。イベリア半島と関わりの深いフェニキア人やローマ帝国などから、フェニキア人の特色を他の民族や国家と、ローマ皇帝の業績を他の皇帝と比較しながら正しく理解できているかを問う。ゲルマン人やその後のイスラーム勢力の進出により建国された国家について正しく理解できているかを問う。近代以降ではスペインを中心に、大航海時代から絶対主義までの理解度を問う。また、イスラーム建築、アメリカ大陸の古代文明などの文化史まで正しく把握しているかを問う。その他、神聖ローマ帝国の皇帝について、歴史の流れを正しく把握できているかを見るために年代順に配列する問題を取り入れた。

III 19世紀前半のヨーロッパの動向について、政治史を中心に正しく把握できているかを見る問題である。フランス革命・ナポレオン戦争については、その史実の流れを把握できているかを見るために年代順に正しく配列する問題を取り入れた。ウィーン体制やその体制下で起こった国民主義・自由主義の動きやイギリスで起こった諸改革・産業革命については、その内容を正しく把握できているかを問う。また二月革命とその影響について、ヨーロッパ各地で起こった史実との関連性をおさえながら正しく把握できているかを問う。

IV 欧米諸国の植民地政策に対して、19世紀以降に起こったアジア・アフリカ諸国の民族運動について把握できているかを見る問題である。学習が手薄となる傾向にあるオスマントルコ、イラン、アフリカ、インド、東南アジアにおける民族運動について正しく理解できているかを問う。特にインドについては、地図や歴史史料を活用しながら、独立までの流れ

を把握できているかを問う。また西アジアや東南アジア各地で起こった民族運動については、それぞれを比較しながら国ごとに正しく整理できているかを問う。

V 「世界終末時計」を利用しながら、現代史を問う問題である。東西冷戦、核軍縮、東西冷戦終結前後の世界各地の動きをその年代とともに正しく整理できているかを問う。また現在につながるパレスチナ問題についても正しく理解できているかを問う。